

洞爺湖町議会平成29年3月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
10番 七 戸 輝 彦	1 健康福祉と公共施設の喫煙所撤廃について	(1) 町政執行方針第5の章に、やさしさあふれる健康福祉のまちづくりとある。特に脳ドック検診のあり方について伺いたい。 (2) 各種検診は当然必要だと思うが、予防はもっと大切。その中でも、肺がん予防には禁煙が一番だと思う。 (3) 町内の小中学校の敷地内が全面禁煙になったのは平成18年4月だと記憶している。それから10年以上たつのに役場庁舎内には実質的に喫煙所がある。これは町長の言う「健康福祉のまちづくり」に反するものではないか。役場庁舎の敷地内はすべて禁煙とするのが当然だと思うが。 (4) その他の公共施設の喫煙所の状況についても伺いたい。また、これらについても喫煙所全廃とすべきと思うが。	①
6番 立 野 広 志	1 (仮称)大滝風力発電事業に対する町行政の対応について 2 2018年からはじまる国保都道府県化の狙いは公費負担抑制であり、高すぎる保険料の解決とならないのか。	(1) 2020年着工を目指し、計画中の(仮称)大滝風力発電事業は、発電出力最大91,200kw(1基3,200~3,800kw風車を24基)で、風車の高さが136.5m~143.5mとテレビ塔に匹敵する国内でも最大級の風車を建設するものです。国の定める環境影響評価も、配慮書の段階を過ぎ、現在方法書の縦覧と審査が行われています。この間、住民への説明が行われてきたが、健康や環境に与える影響の認識や調査が不十分であるとの指摘が多数出されているところです。町行政としても計画に対する審査や意見表明を求められるだけに、この事業に対する町長の認識と対応を求めます。 (1) 都道府県化でこれまでの国保がどのように変わるのか、市町村が独自に実施してきた保険料の軽減措置や法定外繰入などはどうなるのか。保険料はどうなるのか。	②

洞爺湖町議会平成29年3月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
6 番 立 野 広 志	3 庁内の防災体制の見直しについて	(2) 2018年4月から、国民健康保険制度が、都道府県単位化されることになり、道は市町村との協議を行っている。医療給付費削減が目的の「国保都道府県化」は、保険料の統一をめざすものです。昨年11月1日の道の「北海道国保運営方針素案」も、「将来的には保険料水準の統一を目指す」としています。「医療格差」が激しい北海道では、先送りされましたが、保険料水準の算定方法では、保険料水準の統一が可能とされているため、その障害となる市町村の「法定外繰入」については、適当ではないとする圧力が強まることが予想される。「都道府県化」に向けた今こそ、事業主体である町は「住民の福祉の増進を図る」（地方自治法第1条）という役割を発揮し、国保支援金を活用した「法定外繰入」を行い、国保料引下げを行うべきではないか。 (1) 現在の体制で、行政の危機管理の対応や住民を巻き込んだ防災意識の向上、自主防災組織への支援・確立、避難体制の整備計画などの対応を十分果たしうるのか。 (2) 防災・危機管理の業務を独立した部署とし、これに専念する専任職員（嘱託でなく）を配置されることを求めます。	
12 番 大 西 智	1 学校教育・社会教育について	(1) 平成29年度から取り組まれるコミュニティ・スクールの実施予定状況は。 (2) ICT（タブレット）を活用した授業への期待と、今後の施策をどの様にとらえて行くのか。 (3) 学力向上、豊かな人間性、社会で生き抜く力を育むための教育として、町独自の塾の開設やサポートの考えは。 (4) 少年教育の中で「洞爺湖GENKIDS」を実施しているが今年度の状況と来年度へ向けての考えは。 (5) 地域社会の人材育成のための研修事業を実施する目的と具体的な内容そしてこの事業への思いは。	③

洞爺湖町議会平成29年3月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
12番 大 西 智	2 公共施設のあり方について 3 漁業・農業の振興策について	(1) 老朽化した洞爺湖森林博物館を今後どのように考えて行くのか。 (2) 旧洞爺高校寮の活用がいまだに示されていないがどのような施策をもっているのか。 (1) 昨年の台風10号や海の変化でホタテの斃死が多い状況であるが今後の対応策は。 (2) JAとうや湖の馬鈴薯貯蔵施設、選別機の更新にあたり、町の施策として考えて行くようだが、具体的な思いと、進めるべき施策をJAとうや湖と検討しているのか。	
3番 五十嵐 篤 雄	1 新たな教育制度の導入について 2 洞爺地区の町有地について	(1) コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を洞爺地区で先行実施とした理由は。また、当町の教育行政にどのようなことが期待できるのか。 (2) 従来ある学校評価委員会、学校評議委員制度、学校支援地域本部は継続されるのか、この組織に集約されるのか伺います。 (3) 教育委員会が学校を指定することになっているが、組織や規約、開催時期と回数などどんな内容になるのか伺います。 (4) 協議会の主な役割が4項目ほど示されているが多様な意見の調整があると思いますが意見がうまく反映されるのか伺います。（特に教職員の任用） (5) 2月3日に先行導入する洞爺地区でセミナーが開催されているが、現場で問題なく進められることが確認できたのか伺います。 (1) サンシャイン及びいこいの家の用地を活用したいと申し出ている会社の経営実態の把握をされているか伺います。 (2) 洞爺湖は国立公園であり景観を重要視する地域であることを十分に理解した建設計画であることの確認、あるいは協定等考えているのか伺います。	④

洞爺湖町議会平成29年3月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
3 番 五十嵐 篤 雄	3 民泊の実態の把握について	(3) 売却に当たり、条件提示等受けているものがありますか。逆に投資や転売を防ぐ為の契約等も考えていますか。 (4) いこいの家の代替施設を市街地に移転していますが、場所、規模等、ある程度の計画を示していただきたいがどうか。 (5) 平成29年度からスタートする第2期まちづくり総合計画では、三地域の特性に合った振興策に繋がるのかご説明ください。 (1) 札幌などの都市で問題となっている民泊について、当町での実態について把握されていますか。 (2) 規制緩和の観点から、国においては民泊新法が検討されているようですが、違法である民泊について町で指導や相談などの対応を考えていますか。	
5 番 千 葉 薫	1 旅館、ホテルにおける耐震化問題について 2 J R 洞爺駅のバリアフリー化及び構内の活性化について	(1) 耐震改修促進法が改正され、当町においても改修を必要とする旅館・ホテルがある。町としての対応を伺う。 (2) 改修すると相当な金額が予想されるが。 (3) 今後、中小の旅館、ホテルにも耐震化は予想されるのか。 (4) 泊原発の非常時の際の避難宿泊施設になっているか。また、地域の津波の時も避難施設となると考えて国や道の補助も増やすことはできないのか。 (1) 登別市においては、J R 登別駅のバリアフリー化を進めるようだが、特急の停まる駅でエレベーターが無いのはJ R 洞爺駅だけになる。住民はもとより増加している海外の観光客にも影響があると思う。是非、進めるべきと思うが。 (2) 旅行者は洞爺駅で降りると大きな旅行かばんを持って本町地区を歩いているが、預かる場所を確保しては。 (3) 商工会より提案があった駅カフェなどの考え方は。	⑤

洞爺湖町議会平成29年3月会議一般質問

質問議員	件 名	質 問 要 旨	備考
5番 千 葉 薫	3 ふるさと納税について	(1) 胆振管内の市町においても過去最高のふるさと納税があり、新聞、テレビ等で報道されているが、当町の現況は。 (2) 洞爺湖温泉、ジオパーク、三豊市、箱根町などのキーワードを積極的に使って、ふるさと納税のアップにつなげられないか。 (3) 使用目的として子育て支援の充実としているが他にも三豊訪問、箱根訪問など子ども達の視察研修に充ててはどうか。	
9番 板 垣 正 人	1 平成29年度町政執行方針について	(1) 防災避難訓練を毎年行っているが、実施後の総括等を伺います。 (2) 移住定住対策で公営住宅等も含めて考えるべきと思うが町の考えは。 (3) 西山地区の地熱資源について (4) 観光資源である中島（洞爺湖森林博物館を含む）の活用を積極的にするべきと思うが、町の考えは。 (5) 洞爺湖温泉地区の町道、歩道の整備について伺います。	⑥
2番 越前谷 邦 夫	1 洞爺湖町成長戦略について 2 漁業振興について	(1) 地方創生の地方版総合戦略は2015年度から5か年進むが地域の疲弊は待たなして進んでいる今日、資源を共有し利活用した胆振中部、西部の広域連携を前進すべきと時代が来ていると思う。理事者の見解を伺う。 (2) 人口対策を一口で言うなら、いかに「暮らしやすいまち」をつくるかである。その町の自助努力がもっとも重要である。第2期まちづくり総合計画を前進させるための施策、方策の中で今年度の目玉政策は何か。 (1) ホタテ貝の大量へい死の原因究明の環境調査は速やかに行うべき。雑物の発生原因究明は今後の漁業振興に大きな影響を与える。さらなる調査を行う考えはないか。 (2) ナマコ、ウニ、アワビ、海藻類等漁獲対策を強化すべき、環境整備を行う考えはないか。	⑦